



4月11日 芳賀北小学校入学式

No. 159 

2016年5月1日発行

議会だより

はが

## 3月議会定例会

3月定例会概要	2~7
一般質問	8~15
政務活動費報告	16
聲<こえ>私のいいたいこと	17
議会日誌・表紙写真募集・編集室	18

□編集／芳賀町議会広報常任委員会 □発行／芳賀町議会

〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020 電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057

芳賀町議会ホームページ <http://www.town.haga.tochigi.jp/menu/torikumi/gikai/index.html>

## 特別会計44億4,270万円

#### 定例会の概要

平成28年第1回芳賀町議会定例会が3月3日から17日までの15日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上げ、町長から提案理由の説明を受け、人事院勧告に伴う条例改正と補正予算、議員提出議案の質疑・討論・採決を行いました。一般質問は、第1日目と第2日目に行われ、7人の議員が町政について質問しました。第3日目に平成28年度予算を除く議案の質疑・討論・採決を行い、第4日目に平成28年度予算についての質疑を行った後、予算審査を常任委員会に付託しました。最終日に平成28年度予算を原案どおり可決し、閉会しました。

### 第6次振興計画を推進し、 未来につなげるための予算編成

平成28年度の予算総額は121億4970万円で、前年度比0.7%の増となりました。一般会計の歳入歳出予算の総額は、77億700万円で、前年度比7000万円

な設備投資などにより、固定資産税の増収が見込まれるものの、法人町民税の伸びが見込めない状況にあります。

と見込まれます。本年度は、第6次芳賀町振興計画の初年度となります。まちづくりの将来像「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を実現するため、「便利をつなげる」「教育をつなげる」「話題をつなげる」「笑顔をつなげる」「地域をつなげる」の5つの分野が設定されました。

率にして0.9%の減となりました。

歳出は、LRT整備事業や芳賀高校跡地の宅地造成事業、工業団地拡張事業をはじめとした中期の大型事業が予定されており、町

有施設の経年劣化による修繕費や国民健康保険・介護保険などの社会保障関係費が増大することなどから、財政硬直化の進行が懸念され、厳しい財政状況が続く

特定の事業を行うために一般会計と区別して経理される特別会計の歳入歳出予算の総額は44億4270万円で、昨年度より1億5470万円増加しました。

歳入の根幹をなす町税は、工業団地立地企業の積極的

が增大することなどから、財政硬直化の進行が懸念され、厳しい財政状況が続く

工業団地立地企業の積極的

が增大することなどから、財政硬直化の進行が懸念され、厳しい財政状況が続く

が增大することなどから、財政硬直化の進行が懸念され、厳しい財政状況が続く

■平成28年度各会計予算

会計名	予算額	
一般会計	77億 700万円	
特別会計	国民健康保険	22億5,600万円
	農業集落排水事業	1億8,630万円
	芳賀工業団地排水処理センター	8,660万円
	介護保険（保険事業勘定）	13億2,770万円
	介護保険（介護サービス事業勘定）	1,110万円
	公共下水道事業	2億9,830万円
	祖母井南部土地区画整理事業	6,300万円
	宅地造成事業	7,270万円
	後期高齢者医療	1億4,100万円
合計	121億4,970万円	



# 平成28年度予算を

## 一般会計77億700万円

### 話題をつなげる



芳賀の梨

#### ・芳賀町産農産物ブランド化の推進

447万円

- ・芳賀工業団地管理センター改修工事……………800万円
- ・北部第2地区再圃場整備調査計画の着手……………600万円

### 笑顔をつなげる



芳賀赤十字病院完成イメージ

#### ・芳賀赤十字病院建設事業費負担

3,641万円

- ・ボランティアセンターを設立する社会福祉協議会の運営支援……………3,339万円
- ・芳賀郡障害児者相談支援センターの設立負担……………500万円

### 地域をつなげる



ハツ木の丘

#### ・光ケーブル増設工事(ハツ木地区)

1,119万円

- ・自治会活動補助金の拡充……………340万円
- ・消防団詰所改修工事……………679万円

5つの

## 「つなげる」事業

平成28年度の主な事業内容

便利をつなげる



工業団地管理センター前

#### ・LRT整備の推進(用地測量・環境調査など)

1億4,207万円

- ・芳賀高校跡地の宅地造成事業の着手……………7,270万円
- ・祖母井中部市街地整備の推進……………5,303万円

教育をつなげる



認定こども園建設予定地(下延生)

#### ・認定こども園整備のための補助

2億2,970万円

- ・小中学校に防犯カメラの設置・更新……………116万円
- ・小学校の英語教育の充実(外国人指導助手増員)……………803万円
- ・祖母井保育園に栄養士を配置……………181万円

# 平成28年第1回芳賀町議会定例会提出議案

## 承認

□専決処分承認を求めることについて（平成27年度芳賀町一般会計補正予算（第7号））

内容 総額に1065万9千円を追加し、予算総額を80億9341万6千円とするもの。1月18日の降雪により被災した農業者に対し復旧費用の一部を補助するもの。

質疑 水沼孝夫議員（討論なし、原案可決）

## 条例制定・一部改正等

□芳賀町職員の退職管理に関する条例の制定について（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について

内容 町民の生涯にわたる健康の保持増進を図るため、歯と口腔の健康づくりについての基本理念と、町及び関係機関の責務と基本施策等を定めるもの。

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町地区消費生活センター運営協議会規約の変更について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町地区消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町行政不服審査会条例の制定について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□平成27年人事院勧告に伴う特別職の職員の給与に関する法律の改正により、期末手当の支給月数を0.5月分引き上げるもの。

討論 水沼孝夫議員（質疑なし、原案可決）

□芳賀町職員の給与に関する条例等の一部改正について

内容 平成27年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じて、官民給与の格差を解消するため、給料月額を平成27年4月に遡及し平均0.4%引き上げるもの。また勤勉手当を0.1月分引き上げるもの。

質疑・討論なし、原案可決

□議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

内容 平成27年人事院勧告に伴う特別職の国家公務員の特別級の改定に準じて、期末手当の支給割合を0.5月分引き上げるもの。

質疑・討論なし、原案可決

□単純労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に係る基準等を定める条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等を定める条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準等を定める条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等を定める条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

□第6次芳賀町振興計画の基本構想の策定について

内容 第5次芳賀町振興計画が平成27年度に最終年度を迎えることから、現計画における成果や課題と社会情勢の変化などを踏まえ、新たに第6次芳賀町振興計画の基本構想を定めるもの。

質疑・討論なし、原案可決

## 振興計画策定

□第6次芳賀町振興計画の基本構想の策定について

内容 第5次芳賀町振興計画が平成27年度に最終年度を迎えることから、現計画における成果や課題と社会情勢の変化などを踏まえ、新たに第6次芳賀町振興計画の基本構想を定めるもの。

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等を定める条例の一部改正について

質疑・討論なし、原案可決

質疑 水沼孝夫議員  
小林隆志議員  
水沼孝夫議員（討論 原案可決）

□軌道整備・路線認定等

□軌道整備事業の実施について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町道路線の廃止について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町道路線の認定について

質疑・討論なし、原案可決

□軌道運送高度化実施計画の認定申請に係る道路管理者の意見について

質疑・討論なし、原案可決

□芳賀町広域行政事務組合規約の変更について

内容 組合規約に定める教育委員会に関する事項を削除し、芳賀地区広域行政事務組合教育委員会を廃止するもの。

質疑 杉田貞一郎議員（討論なし、原案可決）

□芳賀地区広域行政事務組合規約変更に伴う財産処分

分について  
（質疑・討論なし、原案可決）  
□芳賀郡障害児者相談支援センター運営協議会の設置について

内容 障害児者の相談支援業務を実施するため、芳賀郡4町が共同で芳賀郡障害児者相談支援センターを設置するもの。

立し、規約を定めるもの。また、芳賀郡障害児者相談支援センター運営協議会を設置するもの。

（質疑・討論なし、原案可決）

補正予算

□平成27年度芳賀町一般会計補正予算（第8号）

内容 総額に8226万8千円を追加し、予算総額を81億7568万4千円とするもの。

質疑 小林信二議員  
水沼孝夫議員  
小林一男議員  
北條 勲議員  
水沼孝夫議員（原案可決）

□平成27年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

内容 総額に1億3768

千円を追加し、予算総額を81億7568万4千円とするもの。

質疑 小林信二議員  
水沼孝夫議員  
小林一男議員  
北條 勲議員  
水沼孝夫議員（原案可決）

□平成27年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

内容 総額に1億3768

万3千円を追加し、予算総額を23億512.9万9千円とするもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成27年度芳賀町農業集

落排水事業特別会計補正

予算(第1号)

〔内容〕 総額から289万5

千円を減額し、予算総額を

1億7410万5千円とする

もの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成27年度芳賀町介護保

険特別会計補正予算(第

2号)

〔内容〕 保険事業勘定の総額

に2737万2千円を追加

し、予算総額を13億494

万7千円とするもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成27年度芳賀町公共下

水道事業特別会計補正予

算(第2号)

〔内容〕 総額に158万3千円を

追加し、予算総額を2億6

658万3千円とするもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成27年度芳賀町祖母井

南部土地区画整理事業特

別会計補正予算(第1号)

〔内容〕 総額から400万円を減

額し、予算総額を9400

万円とするもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成27年度芳賀町宅地造

成事業特別会計補正予算

(第1号)

〔内容〕 総額に3227万3

千円を追加し、予算総額を

4727万3千円とするも

の。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

## 予算

□平成28年度芳賀町一般会

計予算

〔内容〕 2、3ページに掲載。

〔質疑〕 6ページに掲載。

〔討論なし、原案可決〕

□平成28年度芳賀町国民健

康保険特別会計予算

〔内容〕 歳入歳出予算の総額

は、22億5600万円で、

前年度と比較して7000

万円、率にして3.2%の増。

〔質疑〕 小林俊夫議員

〔討論なし、原案可決〕

□平成28年度芳賀町農業集

落排水事業特別会計予算

〔内容〕 歳入歳出予算の総額

は、1億8630万円で、

前年度と比較して930万円、

率にして5.3%の増。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成28年度芳賀工業団地

排水処理センター特別会

計予算

〔内容〕 歳入歳出予算の総額

は、8660万円で、前年

度と比較して6540万円、

率にして43%の減。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成28年度芳賀町介護保

険特別会計予算

〔内容〕 歳入歳出予算の総額

は、13億2770万円で、

前年度と比較して6970

万円、率にして5.5%の増

〔質疑〕 小林俊夫議員

〔討論なし、原案可決〕

□平成28年度芳賀町公共下

水道事業特別会計予算

〔内容〕 歳入歳出予算の総額

は、2億9830万円で、

前年度と比較して4430

万円、率にして17.4%の増。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成28年度芳賀町祖母井

南部土地区画整理事業特

別会計予算

〔内容〕 歳入歳出予算の総額

は、6300万円で、前年

度と比較して3500万円、

率にして35.7%の減。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成28年度芳賀町宅地造

成事業特別会計予算

〔内容〕 歳入歳出予算の総額

は、7270万円で、前年

度と比較して5770万円、

率にして39.7%の増。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□平成28年度芳賀町後期高

齢者医療特別会計予算

〔内容〕 歳入歳出予算の総額

は、1億4100万円で、

前年度と比較して300万円、

率にして2.2%の増。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

## 陳情

□「手話言語法(仮称)」の

制定を求める意見書に關

する陳情書

3月3日の本会議におい

て議員提出議案「手話言語

法(仮称)」の制定を求める

意見書の提出についてと

して本会議に上程され、全

員賛成で可決されました。

なお、意見書は後日、関

係大臣と衆参両院議長へ送

付しました。

## 賛否の公表

議員番号	議員	議案第8号 芳賀町長等の給 与及び旅費に関 する条例の一部 改正について	議案第9号 芳賀町職員の給 与に関する条例 等の一部改正に ついて	議案第15号 第6次芳賀町振 興計画の基本構 想の策定につい て	議案第23号 平成27年度芳賀 町一般会計補正 予算(第8号)	発議第1号 議会の議員の議 員報酬及び費用 弁償等に関する 条例の一部改正 について
1	岡田	○	○	○	○	○
2	大根田(周)	○	○	○	○	○
3	大根田(弘)	×	○	×	○	○
4	水沼	×	×	×	×	×
5	北條	○	○	○	○	○
6	小林(一)	○	○	○	○	○
7	石川	×	×	×	○	×
8	小林(俊)	○	○	○	○	○
9	岩村	○	○	○	○	○
10	杉田	○	○	○	○	○
11	小林(隆)	○	○	○	○	○
12	小林(信)	○	○	○	○	○
13	大島	○	○	○	○	○
14	増淵	-	-	-	-	-
	採決結果	可決	可決	可決	可決	可決

※賛否が分かれた案件のみを公表しています。賛成○ 反対×

※増淵議長は採決には加わりません



※数字は議席の番号です

# 平成28年度 一般会計予算の 主な質疑



岩村治雄 議員

**問** 社会福祉協議会に設立するボランティアセンターの内容について伺う。

**答** 健康福祉課長 社会福祉協議会と生涯学習課にそれぞれ登録をしているボランティア団体を統合し、地域で活用されるよう、ボランティアをした人々と利用したい人をつなぐ役割とボランティアの意識の醸成、普及・啓発を図ります。事務局は社会福祉協議会に置き、専門の職員を一人増員します。



小林隆志 議員

**問** 期日前投票の際に、投票所で名前・住所・当日投票できない理由を記

載しているが、入場券の裏面に記載する欄を設け、事前に記入できるように簡便化を図っては。

**答** 総務企画部長 今後の選挙の入場券には、裏面に記入する欄を設ける予定です。入場券にはバーコードも付し、本人確認がスムーズにできるシステムも備える予定です。



大島浩 議員

**問** わがまち協働推進事業費補助金の内容について伺う。

**答** 企画課長 この補助金は、地域活性化につながる世代間交流が図れる事業を対象とします。補助率は事業費の2分の1で、各自治会で予定される事業に対しての補助となります。



大根田弘 議員

**問** 畜産競争力強化対策整備事業の内容について伺う。

**答** 農政課長 事業名を畜産クラスター事業

といい、先日2軒の酪農家が中心となり、芳賀南高地区耕畜連携協議会が設立されました。地域内の連携システムを構築し、南高地の畜産農家及び耕種農家等の生産性や収益性を向上させるため、主に酪農家の畜舎、堆肥舎、倉庫などを整備します。



石川保 議員

**問** 芳賀チャンネルの拡充内容について伺う。

**答** 企画課長 これまで宇都宮ケーブルテレビに週3日、役場で番組の制作を委託していましたが、28年度は週4日に増やすものです。また、町の魅力を町外に発信する番組作りを予定しています。



水沼孝夫 議員

**問** 役場庁舎空調改修工事の内容について伺う。

**答** 総務企画部長 空調は電気式の個別エアコン型とし、88基を整備する予定です。再利用が可能なダ

クト等は一部使用しますが、それ以外の設備は全面改修する計画です。6月議会での契約について議決を受け、12月中旬を目標に整備をすすめます。



北條勲 議員

**問** 平成28年度は梨の里馬拉ソン大会が開催されるが中止となっている。

**答** 町長 赤羽有紀子さんには町の知名度アップに協力いただきたいと考えています。大会は、町民祭と同じ日に開催し、役場前をスタートし、赤羽ロードを通る考え方もあります。赤羽さんの名前が途中で消えてしまうようなことは考えていません。



小林一男 議員

**問** 農地利用権設定等促進奨励金について、昨年度決算では1億650万円だったが、28年度予算では

150万円となっている理由を伺う。

**答** 農政課長 これまでは新たに農地を借り受けた認定農業者に対して10アルあたり1万5千円の補助をしていましたが、28年度は、耕作しにくい土地や圃場整備が行われていない土地などを借り受ける人を中心に助成し、対象が減るためです。



大根田周平 議員

**問** 芳賀赤十字病院の総事業費、関係市町の負担割合、開院時期について伺う。

**答** 健康福祉課長 全体の総事業費は160億円と伺っています。その中で16億円が1市4町での負担です。真岡市が10億円、残りの6億円を4町が3年で負担します。負担割合は、均等割が10%、患者数の割合が90%で負担します。芳賀町の負担は3年間で1億1522万円です。開院は平成30年度末の予定です。



岡田年弘 議員

**問** 太陽光発電システムの実績等について伺う。

**答** 住民生活部長 設置数は、平成24年度が62件、25年度が78件、26年度が57件、27年度が28件と減少傾向です。現在の申請は新築の際に設置するものがほとんどです。



杉田貞一郎 議員

**問** 地域農産物ブランド化推進の農産物輸出支援業務及び農産物PR業務の内容について伺う。

**答** 農政課長 農産物輸出支援事業では輸出支援業務の委託費50万円、輸出に係わる梨の箱の製作費50万円の委託料を計上しています。農産物PR業務は、東京方面での農産物の販売のイベントを町独自で企画しています。

# 常任委員会予算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は3月9日から15日まで、平成28年度芳賀町一般会計予算及び特別会計予算の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、3月17日の本会議において意見を付して予算を認定しました。

## 総務常任委員会

□書類審査（3月9日、11日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員事務局

□現地調査（3月15日）

八ツ木の丘（光ケーブル増設）、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付、消防団詰所改修（第3分団第4部）、農業者トレーニングセンター調理室・駐車場

□審査の意見または特に留意すべき事項

①公共施設等総合管理計画策定業務が新規に計上されているが、委託先に任せるだけでなく、町の施設利用状況、利用計画をよく加味し進められたい。  
②生活バス路線維持費が毎年計上されているが、既存路線バスをスクールバス等として活用し、既存路線バスの利用者増加による補助金削減を検討されたい。



▲審査の様子



▲現地調査

## 教育民生常任委員会

□書類審査（3月9日、11日）

住民課、健康福祉課、高齢者支援課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（3月15日）

芳賀中学校・町第2体育館、のぶ幼稚園、学童保育なかよしクラブ、総合情報館

□審査の意見または特に留意すべき事項

①社会保障全般を取り巻く社会情勢の変化を受け、平成26年度の制度改正ではサービス利用者の多様なニーズに応ずるため新たな「地域包括ケアシステム」の体制づくりが求められている。現在、町では福祉を担当する部署は健康福祉課と高齢者支援課だが、高齢者が地域で安心して暮らせる支援をするためには「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が一体的に提供できる体制づくりが必要と考えられるので、対応されたい。  
②当町では3年で約1億1千万円を補助することになっている芳賀赤十字病院は芳賀郡市唯一の第2次救急医療に対応できる病院である。今後は、がん治療など多くの疾患の治療が芳賀赤十字病院で完結できるよう関係市町と連携して一日も早い開院を促進されたい。



▲審査の様子

## 産業建設常任委員会

□書類審査（3月11日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（3月15日）

ガスセパレータ、かしの森公園、銭時線、耕作放棄地、再圃場整備、芳賀高校跡地、空き家

□審査の意見または特に留意すべき事項

①調整区域の規制は、芳賀町において人口の流入を困難にする作用と同時に、市街化区域の開発余地の減少と少子高齢化に伴い、ますます人口減少に拍車をかけている。市街化区域の拡張と町づくりの未来予想図、また達成に向けての都市計画マスタープランの作成が急務である。その意味で、北部第2地区の再圃場整備事業は、祖母井市街化区域の将来に向けた計画的な市街化に支障がないよう、線引きを見直したうえで実施しなければならぬ。  
②工業団地の拡張と新たな企業誘致により、大学や高校を卒業して地元で職を得ようとする若者に対し、産官学連携により雇用を創出し、特に16〜25才の流出した人口のUターン及び人口の流入を図られたい。  
③芳賀町商工会に委託している商業集積地は9年目を迎えているが、地元商工会員の出店者の家賃設定もリーマンショック以前に決定され、10年が経過している。その後の地方経済は疲弊したままであり、出店者の現状に合わず経営を圧迫し、撤退する業者も散見される。今後も維持発展をするために、活性化に向けた改善策を検討されたい。

# ここが聞きたい 7人の議員が一般質問

一般  
質問

第1日目と第2日目に一般質問が行われ、7人の議員が町政について質問しました。



岡田 年弘 議員 (9ページ)

- ① 芳賀町北部第2地区再圃場整備事業について
- ② 遊水地整備について

大根田 周平 議員 (10ページ)

- ① 第6次振興計画について



大島 浩 議員 (11ページ)

- ① 高齢者の運転免許自主返納に対する支援について

岩村 治雄 議員 (12ページ)

- ① 高齢者の徘徊に対する対策について



水沼 孝夫 議員 (13ページ)

- ① 町の人口を減らす人口ビジョン及び総合戦略の再考について

大根田 弘 議員 (14ページ)

- ① 後継者問題について
- ② 耕作放棄地について
- ③ 山の日について



北條 勲 議員 (15ページ)

- ① LRTの導入を町民に理解されるには
- ② デマンド交通の計画について

## 一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は6月6日からの予定です〉

## みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

### — 放映時間 —

会議当日 午後8時から  
再放送 翌日の午後2時から



岡田 年弘 議員

## 一 般 質 問

### 芳賀町北部第2地区再圃場整備事業について

**問** 芳賀町北部第2地区再圃場整備が計画されようとしているが、再圃場整備に対する思い、考え方、また非農用地の創設について伺う。

**答** 町長 町政運営方針では、水田農業に力を入れる必要性を強調しました。特に、芳賀町の特性である土地利用型農業をさらに強くするため、土地改良事業を実施し、農作業の効率化や農業担い手への農地の集積、厳しさを増す産地間競争に勝てる農業を推進する

ことを表明しています。非農用地については、平成24年度に完了した北部第1地区で27ヘクタールを創設し、遊水地や町道、用排水路整備を実施しました。

北部第2地区では、今後詳細な調査設計を実施しなければ、創設可能な非農用地の面積はわかりませんが、町としては、県道宇都宮・茂木線芳賀バイパスへのアクセス道路の拡幅や小中学校の通学路整備等、町道整備計画の中で非農用地を創設していきたいと思えます。

**問** 未整備地区の祖母井北部と芳志戸南部の水田

### 遊水地整備について

また、祖母井北部と芳志戸南部の未整備地区においても、土地改良事業により幹線町道を新たに整備したいと考えています。

**答** 農政課長 祖母井北部地区は、面積は10ヘクタールです。その内訳は、水田7ヘクタール、畑3ヘクタールです。芳志戸南部

と畑の割合、利用状況について伺う。

は、約30ヘクタールです。現在の利用状況は、一部の水田では、作付けが行われていますが、ほとんどは転作で麦や野菜、また保全管理がされています。

**問** 整備の進捗及び町としての計画、道の駅より五行川を北上して、遊水地までの整備についての考えを伺う。

**答** 町長 進捗状況ですが、昨年度、工事着手しましたが、左岸側は排水施設

ラワーパークや水生・湿性花園など多くの町民等が集い、楽しめる空間を創出するとともに、子どもたちが自然の中で遊び、仲間と触れ合う体験ができるようせせらぎ水路や水遊び場などの整備を検討しているところで、これらの整備とあわせて、ロマンの湯周辺のサイクリングロード沿いの桜堤を遊水地まで延長できれば、桜を楽しみながら回遊できるものと考えています。

**問** 道の駅より遊水地までの桜堤の創設について伺う。

**答** 建設産業部長 堤防本体には桜を植えること

の整備や、約9ヘクタールのうち3ヘクタールで掘削工事が終了するなど、平成29年度の完成を目指し順調に進捗しているようです。右岸側につきましては、左岸側の整備完了後、3カ年程度で整備をする計画と聞いています。町では遊水地空間の通常時の活用案として、遊水地の外周を桜堤回廊として、遊水地内は、フ



▲工事中の遊水地



大根田 周平 議員

## 第6次振興計画の構想について

**問** 都市計画法に基づく用途地域別面積と農業振興地域の整備に関する法律に基づく農用地面積について伺う。

**答** 町長 現在の市街化区域面積は442ヘクタールで、そのうち住居系用途地域は73.2ヘクタールです。工業系用途地域は368.8ヘクタールです。現在、第6次振興計画の策定と併せて町都市計画マスタープランの見直し作業を進めています。住居地域については必要に応じて隣接地を市街化区域に編入し、住居拠点を形成していきます。工業系土地利

用については、既存の工業団地の隣接に新工業団地を創出して工業機能の拡充を目指します。農用地面積ですが、現時点での面積379.5ヘクタールは極力維持しなければと思っています。現在、町農業振興地域整備計画を見直し中です。

**問** 工業専用地域拡大の計画面積は。  
**答** 建設産業部長 栃木県環境影響評価条例では造成面積が20ヘクタールを超えると環境影響評価（アセスメント）が義務づけられていることから20ヘクタール程度か若干それを下

回る面積が適当ではないかと思われます。

**問** 県では環境アセスメントの実施面積を2016年度から50ヘクタール以上にするとしている。面積を再検討して行政経営の基盤を向上させてはどうか。

**答** 建設産業部長 面積については今後、関係者の理解や自然環境等を考慮して進めていきます。

**問** 町長は祖母井をコンパクトシティにしたいとのことだが、LRTの駅保健センターや農業者トレーニングセンターの老朽化、イベント開催時の駐車場不足が顕在化している。公共用地を先行取得しては。

**答** 町長 北部第2地区について県との調整後でないといけません。わけにはいきません。

**問** 今後の土地利用をトータル的に考えた場合、道の駅から主要地方道宇都宮茂木線（芳賀バイパス）区間は将来、市街化区域に編入しては。

**答** 建設産業部長 町としてはトータル的な土地

利用の調整を図って適切に対応していきます。

**問** 芳賀町北部第2地区再圃場整備事業計画の総事業費、工事完了時期などについて伺う。

**答** 農政課長 受益面積は220ヘクタール。工期は平成28年度から平成43年度までの16年で総事業費は約29億3000万円と見込んでいますが、あくまでも見込みの額です。

**問** 栃木県畜産公社が整備・運営主体の食肉センターについて伺う。

**答** 町長 栃木県畜産酪農研究センター芳賀分場跡地、約27ヘクタールの全体利用計画については食肉センター建設用地10ヘクタール以外の跡地利用はまだ決定していません。現在は、関係機関で組織している整備検討協議会で整備実

施計画を作成しており、跡地利用の検討はその後となるようです。具体的な検討の際には協議の場に参加したいと思っています。

**問** 祖母井の住居地域で国土交通省が推進してい

る無電柱化について伺う。

**答** 町長 町としては、祖母井南部地区と同様に裏通りへの配線という手法で可能な限り無電柱化を関係機関と協議して進めていきます。

**問** 県が事業主体の道路に  
ついて町、電力会社等も負担するアロケーション方式で実施しては。

**答** 建設産業部長 道路管理者の県、東電、NTTに協議していませんが手法としては認識しています。



▲無電柱化された真岡の街並み

# 高齢者運転免許自主返納の支援について

## 一般質問



大島 浩 議員



**問** 自主的に運転免許を返納した高齢者に対し、

町から感謝状を贈呈するとか、デマンドタクシーの割引券、または無料券を配付するなど考えられないか、返納後の生活を支援することにより、高齢者の交通事故防止につながるのではないか。

**答** 町長 芳賀町はバス・電車など公共交通に恵

まれないため、自動車は住民生活に必要不可欠な交通手段となっており、自動車のない生活を想像することも難しい状況です。運転免許証を自主的に返納された

高齢者に対して返納後の生活を支援することは大変重要なことと認識しています。町としては、さらなる住民サービスの向上を目指し、平成28年4月から、ひばりタクシーの料金を引き下げる方向です。

高齢者の免許証自主返納のきっかけになるよう、感謝状の贈呈やひばりタクシーの無料券、割引券の交付などの支援について、他市町の取り組み内容なども参考にしながら実施に向けて具体的に検討していきます。

**問** 県内の自治体における免許証を返納した人への支援の状況について伺う。

**答** 総務企画部長 現在、

県内25市町のうち15の自治体で何らかの支援措置が設けられています。主な内容としてはデマンドタクシーの回数券の交付、市営バス等があれば市営バスの無料券の交付などが多いようです。先日、真岡警察署の交通課長が来庁されました。交通課長の話では、真岡署管内でこのような措置を設けている市町はないようです。ぜひ芳賀町でその先例をつくっていただけないかという依頼もありました。交通安全協会の役員さ

んからもそのような要望も受けています。具体的に整理した上で、実現に向けて検討を進めていきたいと考えています。

**問** 運転に自信がなくなつた高齢者の皆様の返納を支援するものがあれば芳賀町の交通安全、事故が防

げるのではないかと。返納支援措置を設けても車に依存する方は多いかもしれません。強制的に

返納を求める、勧めることもできませんので、本年度、高齢者向けの交通安全講習会、大会なども実施していきます。来年度も引き続き、このような交通安全対策を推進して高齢者の事故を1件でも少なくしていきたいと考えています。



### 自主返納





岩村 治雄 議員

## 高齢者の徘徊に対する 対策について

**問** 認知症の現状とその支援はどのようにされているのか。

**答** **町長** わが国の認知症高齢者は、2025年には約70万人、65歳の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれています。国では「認知症施策推進総合戦略」を策定しています。町ではこの施策に基づき、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を見守る応援者として認知症サポーターを継続的に養成していきます。今後も継続的に認知

症への理解を深めるため普及、啓発に努めていきます。



▲認知症サポーター養成講座

**問** 町の認知症高齢者の状況について伺う。

**答** **高齢者支援課長** 平成27年12月末現在の町の要介護認定者は766人で、そのうちの約6割の方が認知症の症状を示すと推測されます。

**問** 行方が分からなくなつた場合の初期の対応は大変重要で、今後関係機関等と連携によるネットワークを構築すべきと思うが、町の考えを伺う。

**答** **町長** 行方不明者の捜索には行方不明者届を警察に届け出ることにより、まず警察が初動の対応を行う流れになっています。警



▲生きがいサロン

察は届出を受理した後に聞き取りや周辺捜査を行い、事件性がないと判断した場合のみ、町や消防団への情報提供や捜査協力の依頼をすることになっていきます。

**問** 当事者は、迷惑をかけるかもしれないと考える。探し出したいと考える。探しても見つからない場合、どこに連絡すればよいのか迷うことが遅れる原因とと思う。警察、消防、民生委員、社会福祉協議会、町で連携して地域とのネットワークをつくり、初期のうちに気軽に当事者が相談できるように窓口を設置することによって事態を最小限に食い止めることは出来ないか。

**答** **町長** 気軽に相談できるような社会構造が必要だと思えます。それには行政側が徘徊や行方不明に対して前向きに取り組む姿勢を示すことです。時間がかかるかもしれませんが担当課で協議をしながら、関係機関等と方法、事例などを参考にしながら進めていきます。



▲囲碁将棋サロン

# 一般質問

## 町の人口を減らす人口ビジョン及び総合戦略の再考について

**問** 他市町がそうだから芳賀町も人口を減らしてよいという理屈は通らない。なぜ人口増への努力をしないのか。北部第2地区再開発整備事業は線引きの見直しを阻み、祖母井の市街化区域の拡張と定住人口増への道筋をつぶすことに繋がっている。市街化区域と農振地域の線引きを見直して実施すればバランスの良い町づくりができる。現在の市街地では物理的に人口増は無理である。町長の考えを伺う。

**答** 町長 人口減少は商業圏の衰退や、生産年齢人口の減少に伴う人材不足、施設の維持管理費や社会保障費の増大、税收減などの影響があります。第6次振興計画のリーディングプロジェクトとして人口減少対策を位置づけ、産業の振興や地域の活性化によって計画の実現を図り、2060年には持続可能な町になることを目指します。

**問** 宇都宮市長は、LRT事業の沿線開発がポイントだと発言した。なぜ町は沿線開発を目標としないのか。LRT事業の投資対効果をどう考えるか。また、TPPや米価の下落、主食用米の需要減の影響も念頭に北部2地区の経済効果を伺う。

し、北部2地区の再開発整備事業により、生産性と農業所得の向上、経営の安定が見込まれます。特に祖母井北部及び芳志戸南部の未整備地区の効果は顕著に現れると思われま。TPPや社会的な嗜好の変化による需要動向に対応できる環境を整備し、強靱な農業経営体を育てていきたいと考えています。

の合計特殊出生率は1.4であり、県の平均も同様値なので、今回県の1.9に準じて、町の出生率を設定しました。総合戦略は、まちづくり基本条例の趣旨に沿って手順を踏んで策定を進めてきました。昨年8月に町議会各種団体の代表者や学識経験者からなる24名で委員会を組織し、各分野の専門的立場からご審議をいただきました。日本全体の人口が減っている実情で、増えしろと言われてもそれは出来ません。さまざまなデータをもとに町は正しいと思う計画を出させてもらいました。

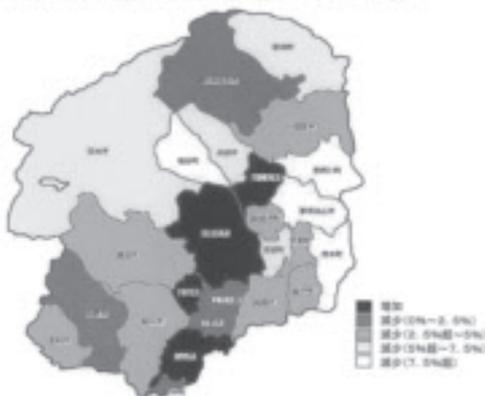
**答** 町長 LRTの沿線開発と経済効果については、まちづくりと都市交通が一体となった総合的な交通施策が重要なことから、都市交通マスタープランの策定を進めています。魅力ある沿線整備は重要と考えています。また、交通結節拠点の芳賀工業団地管理センター隣接地である下原地区には、地区計画制度を活用し、既存住宅地の環境改善を図り、農地等の都市的土地利用への転換を誘導します。北部2地区の経済効果は、短期的な効果ではなく、農地集積、環境保全や自然災害対策など、さまざまな目的があり、一概に経済効果は計れません。しか

**問** 県の希望出生率が1.9だから町も1.9に、2040年以降は2.0に設定するのは安直過ぎる。人口を増やす努力を怠ると将来に大きな傷を残す。無責任な戦略やビジョンを立ててはならない。今般の人口ビジョン、総合戦略の再考を強く訴える。町長の見解を伺う。

希望出生率は1.9に、2040年以降は2.0に設定するのは安直過ぎる。人口を増やす努力を怠ると将来に大きな傷を残す。無責任な戦略やビジョンを立ててはならない。今般の人口ビジョン、総合戦略の再考を強く訴える。町長の見解を伺う。

**答** 町長 希望出生率は県においても2030年を1.9とし、総合戦略を策定しています。町の平成22年

図1 人口増減率分布図(平成22年~27年)



水沼 孝夫 議員



大根田 弘 議員

## 後継者問題について

**問** 近年、若者の農業離れが多い。若者を農業に引きつける政策、施策が必要と思われる。町では後継者育成についてどのように考えているのか。

**答** 町長 町では、過去5年間で39人の新規就農者が誕生し、現在もほとんどの方が農業に従事しています。農業の明るい将来を築くには長期的計画を示し、若者を引きつける政策、施策が必要と認識しています。第1に現在農業を営んでいる世帯の跡継ぎを育てること、第2には新たな就農者を受け入れることの2つ

に分け、長期的な施策を行っていききたいと思っています。

**問** 安定した収入が得られない。米や梨、園芸作物をブランド化し収益の増加を目指し、後継者育成につなげればよいと思うが。

**答** 農政課長 第6次振興計画の中でも土地基盤整備として農地の集積、新興作物の振興ということに重点課題として捉えています。来年度予算で担い手育成支援事業を立ち上げ、安定収入と新技術導入等に補助事業を用意しています。新規就農者にやる気、魅力

を感じていただきたいと思います。

**問** 農業後継者の結婚相談は農業者育成に必要かつ重要です。住みよいまちづくりを実現し、若者を農業にとどめることを目指し、継続してもらいたいと思うが。

**答** 生涯学習課長 農業後継者については結婚相談会を4回行っていきます。また、今年から郡でもイベントが行われ、県でも組織的に結婚支援をしていく予定です。

## 耕作放棄地について

**問** 高齢者の増加とともに農地耕作放棄地が多くなっている現状です。特に畑の場合は作付するメリックトがほとんどなく、借り手・貸し手間の問題がクローズアップされている。

**答** 町長 農地耕作放棄地は平成28年3月現在で13.5ヘクタールです。土地所有者への指導のおかげで、他市町と比べて増加率及び農地全体に占める割合は低

くなっています。現在確認している農地耕作放棄地の解消には、所有者の考えを尊重し、その状況や周辺環境によって柔軟に対応しなければならぬと思っています。今後発生すると思われる放棄地の未然防止策については、農業委員会と農業公社に連携していただき、農地の借りての確保や営農指導により決め細かく対応するとともに、効率的に農作業が出来る農地として整備することで、担い手への集積を図っていきます。

## ふるさと

**問** 8月11日が山の日に制定された。制定の趣旨は、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝することだそう。スポーツ、レクリエーション活動を通じ、心身の健全な発達、生きがいのある豊かな住民の交流の場となる行事をうたって

いる。町では健康増進のためたくさんの行事を行ってきたが、山の日についての考えを伺う。

が改めて山の恩恵を感謝し、個人的に山に親しむ機会をつくらせていただきますようお願いいたします。

**答** 町長 芳賀町には登山ともあり、山の日に町単独での行事等の開催は今のところ考えていません。個人



## 一般質問

### LRTの導入を 町民に理解されるには

**問** LRTを導入すること  
で期待できる効果とし  
て、工業団地の渋滞緩和が  
ある。一方では、LRTを  
利用する町民はどのくらい  
か、採算性の懸念も根強く、  
将来に子や孫の負担になる  
との町民の声も聞く。導入  
を心配する町民に理解を得  
ることが重要と思うが町長  
の考えを伺う。

**答** 町長 LRTを安定的、  
永続的に運行するには、  
多くの皆様にご利用頂く必  
要があり、そのためには導

入にあわせたバス路線の再  
編、循環バスの新設、デマ  
ンド交通の拡充など、さま  
ざまな公共交通を円滑につ  
なぐ利便向上策を一体的に  
実施することが重要です。  
今後、誰もが利用しやすい  
公共交通ネットワークの形  
成に向けて、関係機関と協  
議しながら地域公共交通再  
編計画を策定していきます。  
ホームページ、広報紙、パ  
ンフレット、映像などで町  
民理解に取り組みます。

**問** 平成26年4月に工業団  
地従業員2万3000  
人を対象とした調査の結果  
では「LRTを利用する」  
と答えた人は2237人  
だった。1割の利用者では  
将来が不安だ。調査を実施  
した時期は、LRTが開通  
するのか半信半疑ではな

### デマンド交通の計画について

**問** 芳賀町第6次振興計画  
(案)では、LRTを中  
心とした利便性の高い公共  
交通ネットワークを構築す  
るとあります。高齢者や交  
通弱者を含め、町民が利用  
しやすい公共交通網に再編  
するということは、今のデ  
マンド交通をどのようにす  
るのか町長の考えを伺う。

**答** 町長 今後、地域公共  
交通再編計画を策定す  
る中で、LRTやバス、デ  
マンド交通などが相互に連  
携した公共交通ネットワー  
クの形成を進めます。デマ  
ンド交通については、利用  
者の負担軽減と高齢者の外  
出を支援するため、平成28

かったかと思われる。確実  
な利用者数を把握するため  
に、もう一度アンケート調  
査を実施するか伺う。

**答** 町長 工業団地の皆様  
に昨年の12月に事業説  
明会を実施しました。現在、  
各種測量等を進めながら詳  
細設計を進めていますので、

事業内容がもう少し細かく  
わかるようになりましたら、  
再度説明会を実施すると  
もに、アンケートが必要だ  
と感じた際には、芳賀工業  
団地連絡協議会の力をお借  
りしながら実施していく形  
になるかと思えます。

年4月から1回の利用料金  
を中学生以上は200円、小学  
生以下は100円に改定を予定  
しています。

**問** 真岡に136人、茂木に36  
人の高校生が通学して  
います。真岡鉄道の駅は町  
外のため、デマンド交通は  
地域外で利用できません。  
山口市のグループタクシー  
を参考に、タクシー会社と  
契約をして、高校生のため  
に乗り合いタクシーを駅ま  
で運行しては。

**答** 企画課長 地域公共交  
通再編計画の策定等も  
考慮しながら、デマンド交  
通の機能拡大がいいのか、  
グループタクシーのような

新しい手段を別途検討する  
ほうがいいのか、総合的に  
検討させていただければと  
思います。



▲デマンド交通(ふれあいタクシーひばり)

北條 勲 議員

# 平成27年度政務活動費の各会派収支報告

政務活動費は、会派及び議員が町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させるための調査研究等の活動に要する経費に対して交付されます。議員1人あたり年額12万円を限度に交付しています（収支差引残額は町に返還されます）。

平成27年度のおもな活動について報告します。

## 芳賀政友会

所属議員 小林 信二、大島 浩、杉田貞一郎、小林 俊夫、  
小林 一男、大根田周平、岡田 年弘

交付額 770,000円

支出額 548,240円

調査内容 ・健康長寿日本一の村づくりについて（愛知県飛鳥村）  
・「健康おおつ21」の取り組みについて（滋賀県大津市）  
・ごみ減量化の取り組みについて（神奈川県葉山町）



▲視察の様子



▲飛鳥村すこやかセンター前にて

## 芳志会

所属議員 石川 保、北條 勲、水沼 孝夫

交付額 330,000円

支出額 194,445円

調査内容 ・路面電車運営の概要等について（広島電鉄株式会社）

## 志友会

所属議員 小林 隆志、岩村 治雄、増渕さつき、大根田 弘

交付額 400,000円

支出額 202,580円

調査内容 ・路面電車運営の概要等について（広島電鉄株式会社）

※芳志会と志友会は合同で調査を行いました。



▲視察の様子



▲広島電鉄の車両前にて



## いいところですよ



金子 和好さん  
(稲毛田)

祖母井の町並みを北へ3キロほど行ったところに、<sup>ふじやま</sup>富士山自然公園があります。平成2年から整備が始められ、園内は桜とけやきの森ゾーン・雷神社公園ゾーン・自然観察ゾーン・水辺憩いゾーンに分かれ、四季それぞれに趣のある公園です。また、地域一帯がとちぎのふるさと田園風景百選にも選定されています。頂上付近には展望台があり、西側に開けた景色は絶景です。北には那須連山や日光連山が連なり、南の筑波山まで一望できます。眼下の大川の流れに沿って広がる田園風景には、里山の風情が漂っています。桜の頃も見事ですが、梨の花の咲く頃には、点在する梨畑が雲海のように幻想的に見えます。先日、散歩の途中でお会いした県外の方に「いいところですね。近くに住んでいる人はいいですね」と羨ましがられました。

是非、皆様も一度、お出かけになってみてはいかがでしょうか。

## 町の魅力の発信を



沼能 秀典さん  
(下高根沢)

芳賀町は田舎で小さな町ですが、魅力がたくさんあると思います。緑が豊かで、田畑が多く、米や梨、イチゴ等の農産物がたくさん作られていますし、スポーツも盛んです。中学校の部活動は県内でも有数の強さを発揮していますし、町内には野球場やサッカー場はもちろん、テニスコートまであり、さまざまなスポーツができる環境があります。また、総合情報館という文化施設も数年前にできました。町の人口が1万6千人に満たない小さな町で、これほどまでの施設がそろっている自治体は珍しいと思います。

魅力のたくさんある芳賀町ですが、年々人口が減少しており、このままだとそれに拍車がかかり、町自体がなくなってしまう可能性もあります。それを避けるためにも、子育てのしやすい環境づくり、デマンドタクシーや路線バスの拡充、これから開通予定のLRT延伸等、生活環境を整え、それと同時に町の魅力をPRし、発信していく必要があると思います。

## 地域の絆を大切に生きる



阿久津早苗さん  
(西水沼)

数年前、近所の友人から「健康のために歩かない？」と誘われました。当時、義父を看取り、しばらくの間、何をするのにも気力が無く、気分が優れない日々を過ごしていました。迷ったのですが、ウォーキングを始めることにしました。体力はもちろんのこと、歩きながらの会話が心の健康に功を奏し、気分が晴れて元気になることができました。今日の出来事・料理の話・社会問題等、とりとめのない話に花が咲きます。情報交換により地域のこと・世の中のこと、さまざまなことを考えられるようになってきました。小さな出来事ですが、私にとっては大切な友人との絆になりました。

私たちの地域も少子高齢化・過疎化への道をたどっていて、寂しい限りです。今後の生活の中で、いかに近隣の人や地域の人と関わっていけるかが私たちの課題ではないかと思っています。

地域の絆を大切に、より良い地域づくりができますよう、町及び議員の皆様のお力添えをいただきながら努力していきたいものです。

# 議会日誌

## 2月

- 2日・町農業再生協議会
- 3日・定例監査
  - ・芳賀中部上水道企業団水道運営協議会
- 5日・全国議長会第67回定期総会
- 8日・都市計画マスタープラン策定委員会
  - ・宇都宮市議会海外行政視察研修報告会
- 10日・町村議長会正副会長会議
- 15日・国体準備委員会
- 17日・全員協議会
  - ・議会運営委員会行政視察(～18日)箱根町
- 19日・例月出納検査
  - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 23日・町村議長会議長会議
- 24日・議会運営委員会
  - ・国保運営協議会
  - ・地域包括支援センター運営協議会
- 25日・芳賀郡中部環境衛生事務組合議会定例会
  - ・芳賀中部上水道企業団議会定例会
  - ・市町村振興協会理事会
- 26日・芳賀・宇都宮LRT整備推進議員連盟設立総会

## 3月

- 2日・芳賀地区広域行政事務組合定例会
- 3日・第1回定例会(～17日)
  - ・議会広報常任委員会
- 8日・議会改革検討委員会
- 10日・芳賀中学校卒業式
- 18日・小学校卒業式
- 23日・例月出納検査
  - ・町農業公社理事会
- 24日・真岡消防署益子分署竣工式
  - ・町政功労表彰式
- 25日・市町村総合事務組合議会定例会
- 29日・芳賀地区広域行政事務組合議会臨時会

## 4月

- 1日・辞令交付式
- 8日・中学校入学式
  - ・市町村総合事務組合議会臨時会
- 11日・小学校入学式
- 12日・町教育会総会
  - ・芳賀中部上水道企業団水道運営協議会
- 20日・例月出納検査
  - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
  - ・議会広報常任委員会
- 22日・奨学生選考委員会

# 議会だよりの表紙写真を募集!

皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集します。

テーマ 「元気な芳賀町」  
(人物・風景等は問いません)

## 応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント(L版以上)またはデジタルデータのタテ型
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合があります。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得てください。
- ・住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。

応募締切 平成28年7月15日(金)



応募先 芳賀町議会事務局  
その他

採用者には粗品を進呈します。

次号は8月発行予定です。

# 編集室

平成28年3月定例会が開催され、執行部より77億700万円の平成28年度一般会計当初予算や、8226万8千円を追加し、総額81億7568万4千円とする平成27年度一般会計補正予算など38議案、議員発議2件も提出され、原案可決されました。木の芽が芽吹き、田にはトラクターの力強い音が響き始めました。新年度も、議会だよりは魅力のある読みやすい紙面を目指してまいります。よろしくお願

指してまいります。よろしくお願  
いします。  
(議会広報常任委員会  
副委員長 大根田弘)



■議会広報常任委員会  
委員長 大根田周平  
副委員長 大根田 弘  
委員 岡田 年弘  
委員 増渕さつき  
委員 杉田貞一郎